

レジメン名

Nivolumab+Ipilimumab

出典 オブジーボ®・ヤーボイ®適正使用ガイド作成

実施部署区分

■入院 ■外来 □処置

対象疾患

治療切除不能な進行・再発のMSI-Highを有する結腸・直腸がん
■進行・再発
□補助療法(術前・術後)
□
□

投与減量の基準

その他			

投与中止の基準

AST	120IU/Lを超える	ALT	120IU/Lを超える
T-bil	1.8mg/dLを超える		
Cr	1.08mg/dLを超えるかつベースライン値の1.5倍超		
その他	Grade1以上の肺炎 Grade2以上の心筋炎・下痢・大腸炎・神経毒性・局所的な免疫抑制療法が有効でない眼障害 Grade3以上の発疹、症状性の甲状腺機能低下症・甲状腺中毒症・下垂体障害・副腎障害、副腎クリーゼの疑い、1型糖尿病		

1クール期間

4コース目まで:21日
5コース目以降:14日又は28日

(次のクールまでの標準期間)

総クール数

PDまで

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
≪1-4クール目(3週間間隔)≫				
ニボルマブ (オブジーボ)	240mg/body	輸液100mL	30分	day1
イピリムマブ (ヤーボイ)	1mg/kg	輸液30mL※	30分	day1
※希釈後の点滴溶液中のヤーボイの最終濃度が1～4mg/mLになるよう調製 生理食塩液または5%ブドウ糖液50mLから20mLを抜き取り30mLとした輸液バッグにヤーボイ1mg/kgを注入し調製				
≪5クール目以降≫				
(2週間間隔の場合)				
ニボルマブ (オブジーボ)	240mg/body	輸液100mL	30分	day1
(4週間間隔の場合)				
ニボルマブ (オブジーボ)	480mg/body	輸液100mL	30分	day1

1日投与順 (経時的に「プレメディケーション」→「ストメディケーション」、溶解液まで含む)
≪1-4クール≫ day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②オブジーボ360mg/body＋輸液100mL(30分) インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を用いて投与 ③生食50mL(30分)経過観察 ④ヤーボイ1mg/kg＋輸液(50mL)30mL※(30分) インラインフィルター(0.2～1.2μm)を用いて投与 ⑤生食50mL(フラッシュ用) ≪5クール目以降≫ (2週間間隔の場合) day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②オブジーボ240mg/body＋輸液100mL(30分) インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用) (4週間間隔の場合) day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②オブジーボ480mg/body＋輸液100mL(30分) インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用)